社協だより
こいうえ
発行・編集
己斐上学区
社会福祉協議会
（会長　住元忠雄）
広報委員会

支えあう町でありたい

いきいきサロン　11月4日　ひまわり会スタート

やまなみ町内会

己斐上学区社協でも始まった、三ヵ年計画のボランティアバンク設置事業。十月十八日は安佐南区にある老人保健施設ベルローゼ見学、同二十五日は地域助け合いやさしい手講座に取り組みました。

ボランティアバンク設置事業始まる

考えさせられた見学

ベルローゼには三十名が参加。見学は、老人保健施設だけではなく、六十歳以上入居可能のケアハウスも。

二十年契約で入居するケアハウスは開設して五年。この間、三分の一の方が入れ替わっているとの説明に、大迫団地から参加された井坂さんは、「素晴らしい設備に入居する前に、集団生活になじむかなど心の問題があるのですね」と。

出前講座に50人

二十五日のやさしい手講座には各町内会から五十名が参加。閉じこもりがちな高齢者などが気軽に出かけ仲間作りをしていきいきと暮らせるように、手助けするボランティアの養成を目的としたものです。全国で徐々に進んでおり、岩手県の湯田町では、「ウンダナーサロン」の名称がついた会が活発になって老人医療費が減ったという、思わぬ効果がでているとか。

ランティアの経験がある方？」講師の質問に手を上げる参加者。（10月25日）

施設の説明を熱心に聞く参加者。

準備進む、やまなみ

社協の取り組みに先立ち、やまなみ町内会は、十一月四日にいきいきサロン『ひまわり会』を発足させます。

その前に勉強をと、十一名が講座に参加されました。

「会の対象は八十歳以上の女性と障害の方。今、準備委員会を作って進めているところです」と、やまなみ町内会の香川さんは『ひまわり会』の取り組みについて講座に参加された皆さんに紹介されました。

敬老の日の集い

長寿を祝い贈られたひまわりの花

敬老の日の集いが、九月十五日、己斐上公民館で行われました。

この日を楽しみに参加された約百八十名の七十歳以上の方は、出し物ひとつひとつに感心されたり感動さ

フルートとハープによる演奏が始まると、参加者は会場を包み込むその音に魅了されてきました。

今年の最高齢九十六歳の角川シヨクヨさんほか、八十五歳以上の方に子ども達からひまわりの花

太鼓愛好会の皆さんによる出し物

上中の子ども達

職場体験学習します

己斐上中学校長
倉岡治雄先生

十一月十七日にＰＴＡ・地域の方々のご協力を得まして中学校を開校以来、職場体験学習を行います。

事業所の方々のご協力を得まいを通し、働くことの意義を愛するとの大変さを知り、また主体的に進路選択できるようにするためです。

十一月

学校を開放域の方も参す。ぜひお

れあい
ちつき大会

やまびこ 栄校祭

小・中学校の子どもの
意見を聞きませんか
西区

いざの時に備え
第22回己斐地区防災キャンペーン

ボランティアグループ

ひまわり会

やまなみ町内会

大変だけどおもしろい

十一月発足したボランティアグループひまわり会について、代表粟村さんと会計の浜岡さんにお話を伺いました。

痴呆老人いない町

「こんにちは」。例会の日、心のこもった準備をして会場の玄関まで高齢者を出迎えます。

対象の高齢者は八十歳以上、また障害をもつ六十五歳以上の女性十名。ボランティアは、二十一名。

「八十過ぎると、『危ない、迷惑をかける』と出かけたくても出かけにくくなります」「この町には痴呆老人がいません。ひまわり会がボケ防止になればいいですね」。

仲間と重ねた相談

長年高齢者と係わり合う仕事をしてきた粟村さん。けがをした一年前、地域の人に助けてもらい、恩返しでボランティアグループを作りたいと、仲間に相談。

年二回の誕生会を重ねて和やかな雰囲気ができていた仲間は、老人会女性部のメンバー。仲間で提案された内容を何度も検討し、結成へとこぎつけました。

毎月やっての要望

二ヶ月に一回と考えていた例会。しかし、高齢者から「毎月やって」の要望。

「見栄を張らない、気軽にできることが大切」と、福原さん。

送迎も担当する福原さんの次の言葉は、ボランティアの真髄です。「大変だけどおもしろい」。

おじゃみが完成。左からボランティアの浜岡さん、安藤さん、荒神さん、福原さん、粟村さん、橋本さん。（集会所で）

社協だより

発行・編集
已斐上学区
社会福祉協議会
（会長 住元忠雄）
広報委員会

笑顔が素敵！プレゼントの手作りの花を持つ最高齢の河野さん。

年頭挨拶

安心して暮らせる町づくりへ

已斐上学区社会福祉協議会
会長 住元忠雄

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、社協事業推進にあたり温かいご支援ご協力をいただき大変ありがとうございました。お陰をもちまして稔りある年になり感謝の念で一杯です。

さていよいよ二十一世紀。今静かに二十世紀を反省ないかと思っております。

つきましては、皆様方の福祉意識の高揚と相互の連携を大切にし、已斐上地区の福祉目標「安心して暮らせるまちづくり、共に暮らせるまちづくり、支え合えるまちづくり、潤いのあるまちづくり」に邁進したいと思います。皆様方のお力

福祉ボランティアを募集しています

支援を受ける方は
ひとり暮らし高齢者、病弱な高齢者の二人世帯、障害のある方

支援内容は
気軽にできることなら、なんでもOK

申し込みは
町内会長、または上公民館

消火器の使い方には、コツがいります。ねらいをさだめて…。

已斐地区
防災キャンペーン

防災ねがい 3学区交代で 続けて22年

十一月の防災週間に合わせて開催されるこのキャンペーンは、已斐上学区、已斐中学区、已斐小学区社協の合同で、神田西消防署、西消防団、已斐上少年消防クラブ、防災会にご協力いただき、防災訓練の成果を披露。消防音楽隊の演奏、トや炊き出しなどで盛り上げます。

上学区老人会

マスコット配り

茶臼台子ども会

社協表彰

23年間“火の用心”